

夕刊

いわき民報

郵便番号 970
いわき市平字田町63-7
いわき民報社
振替口座(郡山)4028
本 社 0246-21666
小 名 0246-23560
常 支 0246-23380
務 局 0246-2903

ワイン・ショップ



大喜多や
平・材木町 3722

一日誕生赤ち
やんに記念品
常務郵便局で受け付け
常務郵便局は簡易保険創業(大
正五年)の十月一日を記念して
十月一日生まれの赤ちゃんに記念

品を贈ることにし、届け出を受け
付けている。
同局は豊かな保障のある暮らし
づくりをテーマに簡易保険
の月活動をしているが、一日生ま
れの赤ちゃんに手を伸ばした色
紙を記念に贈る。

戦滅掃虫く松

ヘリ防除区域外で猛威

伐倒焼却の荒療治も

県、民有林で薬剤散布

市の木クロマツ危うし



シュンの味覚、食用菊の摘花は今が最盛期

松を食害し枯らす松くい虫の被害木が續出して、県は対策に乗り出した。松くい虫は國の森林病害虫に指定され、この夏ヘリコプターによる大掛かりな駆除作戦を展開して成果を収めたが、こんどは駆除対象外となった平たん部の民有林を中心に猛威をふるい、これ以上放置しておくと、市の木クロマツは次々に枯死する心配も出ている。このため薬剤散布と並行して、被害のひどい立ち木については伐倒し枝を焼却するところだ。

年々、七月に一回にわたり延べ面積四百四十二ヘクタールに実施した。その後、実施面積の追跡調査を行ったところ、全く発生は見られなかった。

所有者の承諾作業急ぐ

ところが松くい虫の被害木はほとんどが民有林。これまで市や農家の要請、陳情を受けてか、農家の承諾を得て伐倒し焼却作業を行ってきたが、今回は被害の拡大が懸念され、伐倒し焼却作業を急ぐ必要がある。

11月初の代行駆除へ

所有者の承諾作業急ぐ
からとして、計画では十一月初から二月中旬にわたり、被害木の伐倒し焼却作業と、すでに枯死した立ち木については伐倒し焼却作業を併行して実施する。

見直されてきた養蚕

養蚕の大増産、制度資金の増大が背景となつて養蚕経営が改めて見直されてきている。こうしたことからいわき市内では今年は大増産、県の制度資金を活用し、養蚕造成を行う。養蚕造成を行うのは、三和、田入、大谷の四地区で参加農家は十六戸。養蚕の延べ面積約十二ヘクタール。十八日ごろ予定している晩秋蚕の繭出荷後、直ちに工事に取り掛かる。



信頼できる
メガネの専門店

福島県眼科医会
推奨店

大友本松本

いわき市平字二町目 電話3851

いわき抄

あきひが丘 いわき市小を浜下学園運動会 神宮寺草木園五、あきひが丘学園は二十一日午前十一時二十分秋祭大運動会を開く。雨のときは順延。

不安定な世相の中で生きるには心のよりどころが大切である。偉大な人物ならいざ知らず、多くの庶民はなにを信じ、なにを求めて生きて行くのか、心のやすまのこの少ない現代人には、精神安定剤を服用するだけでは、一時しのぎの処置にすぎぬというところになる。それだけに宗教の果たす役割は大きい。いわき近き市内のお寺さんが、仏の教えを広めるためにいろいろな催しを積極的に行っている。特に若い僧侶が中心になって推進しているのは大変力強いことである。

お寺さんが社会教育の場でもって活動できる環境にあるのに、戦後の混乱期の中それを放棄したように見えたのがいじやう、それが近年になつてやうと、本来の姿に戻つていこうと、空気が濃厚になつてきた。いわゆる「復興力」が働いて来たのである。そして宗教の動きと共に、寺院の中に在る行事を復活させようという意欲が出はじめている。関係者も忘れ去つたものを取り戻すかのよう、積極的な協力するようになった。例えば平の長瀬寺のあきひが丘を今年で五十回目を迎えたが、これなどもその動きの一つの見ゆかたである。牛牛の隣にお寺さんがかかぬ庶民に恵んだ行事になつたのである。こうした催しが市内の各地盛んに行われるようになつたといふのも、真理の探究を願ふ心の芽はと見て良いのではないか。

サン・アートは知識集約型(店舗設計・商業デザイン)の会社です

お店のクリエイター

募集

昭和39年8月：佐藤商業デザイン研究所を平・田町に創業
昭和48年8月：有限会社サン・アートを創立
昭和49年11月：建設業を福島県知事より認可
昭和50年8月：社員持株制度を実施
昭和52年8月：ノブ設計を併設 二級建築士事務所
昭和53年1月：資本金七百万円に増資

主な業務と取引先
店舗設計・監理・施工 商業ビルのプランニング
店内ディスプレイ・グラフィックデザイン・コマーシャルフォト
平ステーションビル・資生堂平坂社・大光電機・ロイヤル工芸



インテリア設計施工・商業デザイン
有限会社 サン・アート
福島県いわき市平南町21-2/3-SUNビル7F 電話22-4711代

- 設計士：2名(男女不問)
来春 大卒・短大卒
- 事務員：1名(女子のみ)
来春 高卒・平市内在住に限る
- 締め切り：11月30日まで
次の書類を当社宛に送付
りれき書(写真付)成績表
- 採用試験：12月20日
- 詳しくは電話で江尻までに

平駅から5分 本町3-SUNビル7階
電話22-4711(代表)
いわき市平南町21-3

☆印は目黒

6・00 キャプテン・ハーロック
30 ジャスト[㊦]
50 F.C.T[㊦]
7・00 がんばれ! レッドビ
30 キーズ
特ダネ登場?!「世界編」
▽9人の妻を持つ西長
マコブラ使い世界一
8・00 ゆうひが丘の総理大臣
「生徒を信じないでそ
れでも先生か!」中村
雅俊 由美かおる 神
田正彦 京塚昌子 樹
木希林 矢戸錠[㊦]
54 ㊦スボット
9・00 水曜ロードショー「遠
すぎた橋」(後編)～
1977年アメリカ作品～
R・レッドフォード
S・コネリー R・オ
ニール G・ハックマ
ン D・ボガード M
・シェール[㊦]
0・54 スボット[㊦]
1・00 きょうの出来事
15 11 PM (司会) 愛川欽
也 かつせ梨乃

香山美子④と永浜ミチ子⑤

◇58%の肥満体を半分以下の76%に減量した女性
イギリスのエスタ・ナッブさん
一直坚持している。

☆印はステレオ

3.00 タベの広場
00 ㊦
15 ☆ サウンド・オブ・ポップス「シックレット・ラブ」「ローラ」「フッキー・ディ」「いそしぎ」「ドローリング・ソング」¹⁵
00 ㊦
05 ☆ FMコンサート＜クラシックリクエスト＞～バッハの名曲～「バイオリン協奏曲第2番ホ長調 BWV 1042」「教会カンタータによるオルガン協奏曲」¹⁵
0.00 ㊦
20 芸術展覧「演劇時評」
1.00 ㊦
05 夜のしらべ「サバイバル」「ジャングル・クワイア」「ミステリー・マン」「マリナ・デル・レイ」「レッド・デザート」「ストリート・ライフ」¹⁵
35 朗読「漱石の思い出」
55 ㊦

日本ニシビ

6・00	悟空の大冒険「メデュ ウスの炎の毛」
30	ジャストⅡ
7・00	ピンク百発百中
30	特ダネ登場?!「世界編 マコブラ使い世界一
8・00	ゆうひが丘の総理大臣 「生徒を信じないでそ れでも先生か」
9・00	水陸ロードショー「遠 すぎた橋」(後編) R ・レッドフォード S ・コネリー R・オニ ール G・ハックマン D・ボガード S・ボーツⅡ
10・54	きょうの出来事
11・00	11 PM

日本ドレスショップチェーン店

ハイファッション マルイ

● 全国でたった40店の選ばれたお店 ●
 ファッション専門店の店内をぜひごらん下さい

- 洋装生地
- ワンピース
- ツーピース
- ブラウス
- セーター
- パンタロン
- スカート
- T シャツ

9・11・13号も取りそろえてございます

日本ドレスショップチェーン店
ハイファッション マルイ
 いわき市平・三町目 TEL・23-6611

みんなで考えよう

美しい町造りを妨げる塀

生け垣を導入した緑化を

塀をつくらな
い運動の提案

ては」「と、ある大学の教授が提案したことがありました。

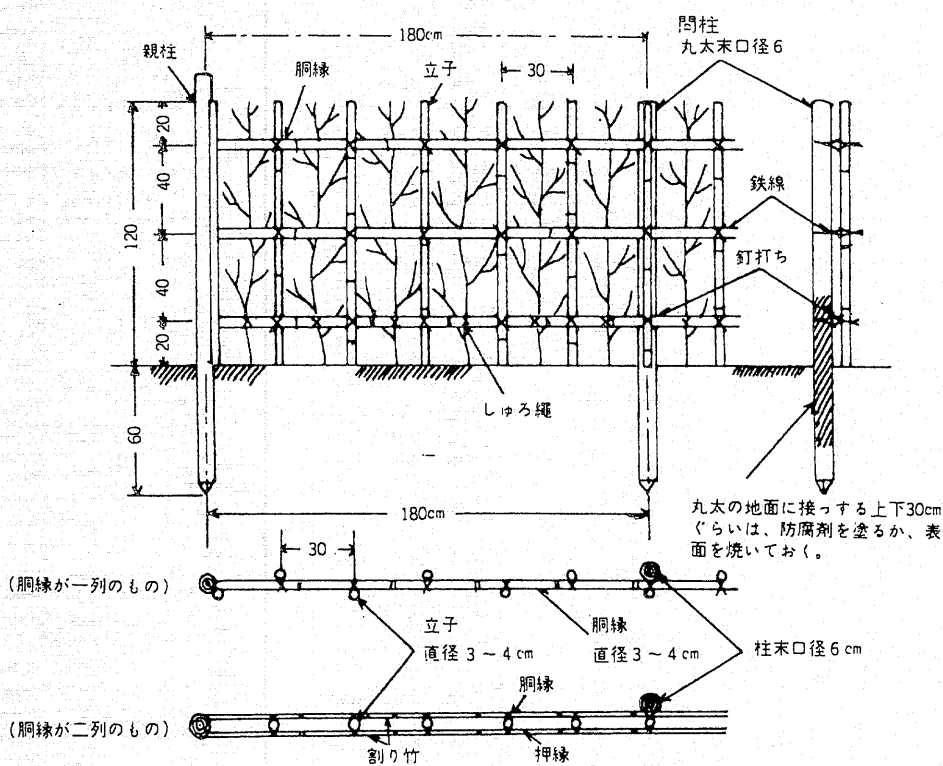
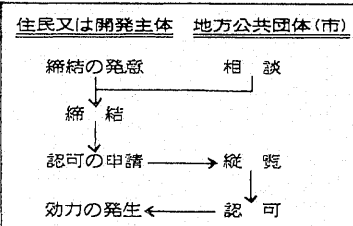
堀、とは字引きの申せば、敵地の境界線に外部からの侵入を防ぐために造った建物ということになります。その種類はじょうに多く、目的は、出入防止の高べい、目かしべい、防火べい、材料が板石、土べい、

をもった方たちなどが植えられ
ることに、たとえば、クコウ
コギ、サンショウなどは食用に利
用されなくては。クコは若い葉
を飯にまきこんで、「クコ飯」、葉
と根皮を干したものは漢方薬で
は熱剤、またウコギは若芽をゆ
でて食用、ひたし物など、根皮
がかわいたものは強壮薬に、そ
るることによって、町づくりが順
絶させられてしまふのです。

ここで各産種の「庭づくりをマ
イホームと町づくりを結ぶ接点」と
位置づけるならば、家の周囲に
は、ブロッケン、コンクリート
塀、塀間はつづらなっていて、庭を十
分とるだけのスペースのないとき
は、家を少し退路から後退させて

の位置を定め、その区域における建物の敷地、位置、構造、用途、形態、意匠または建築設備に関する基準を協定する（以下「協定」を、市町村の条例で定めること）
である（以下「条例協定」）。

たとへば二つの団地で、良好な生活環境をつくるため、この団地の一部は、牌はずしや牛栓地になければならぬという内容を市条例協定しても可い。新たにその団地内に入居する人達とその家族は、牌はずしなかならぬということになる訳です。この協定の内容を、市と協定する、次のような形になります。



【生け垣の作り方】日本公園緑地協会発行の『都市緑化の手びき』より⑤ 左は住宅団地のスケッチ―阿部弘行氏】

花壇やたなが
連なる緑道に

その方法としては、その地域一帯に住民が互いの賛同を得、それらの家を建てないという土協定もしくは建築基準法で定められた建築協定を結ぶ、そして視線を十分に通して、しかもデザイン感覚あふれた、あまり目の高くない木だなや竹だな、あめは美しく着色された金網などを要する。これにバラやフジのつたつたがはいつか、上がつくれば申し分ない。そうなら、道路の両側に庭先が連続して、ちょっとした縁道になることでしょう。ここで、道路、庭家が一体たつてひろがりある町づくりへとつながる訳です。

ここで建築協定などのものの内容を簡単に説明しておきます。建築協定とは、建築基準法第四章第六十条から第七十条に於て第六十条から第七十条に於て、住宅地としての環境や、商店街としての利便のための改善を必要とする場合、その土地について一定

この協定を利用して、さの1号根の材料あいては、色、外壁の色なども統一していったら、先通も出てきた京の町壁などに匹敵するくらい町の美しさを夢ではなかなかならないでしょうか。ここに表現の自由といふ裏返る考え方も出てきますが、少なくとも住宅地なのは、「ここがおの城になんぞでござんぬ」が、強烈に主張するものでないでしょうか、またすべきではないと思ひます、そうではなくて、もと通りとなじむ方向で建てるべきだと思うのです。人がでる、その土が住宅を建てる、この土があるいは住むといふことは、同時にその周辺の地域環境を考えなければならぬ義務もあるといふことではないでしょうか。

このように、塀を中庭にするといふことも、自分自身の身の回りから一歩ずつ遊んで、大きななごりになっていく考えて、美しい町づくりに参加していただくではありませんか。

(常盤上湯袋谷町、前・いわき都市研究会会員、阿部弘行)

いわき市鹿島町鹿島1番地

民 間 車 検 工 場
自動車一般整備・自動車リース

 **四倉自工株式会社**
いわき市四倉町堀谷E.F.L. (0246) 34-3A21M

